



Rotary Opens Opportunities

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：佐藤 章夫 幹事：遠藤 正明

地区目標

「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう。

クラブテーマ

Let's Make The Best Better 前へ!

◆点鐘：佐藤 章夫 会長
◆司会：早川 徹 S.A.A.

◆ロータリーソング：四つのテスト
◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2888回例会

令和2年9月28日(月)

会長あいさつ

佐藤 章夫 会長



私は、数年前から、書けなくなった漢字が加速度的に増えてきております。

読めるけれども書けない漢字がたくさんあります。例えば、「鼠」。それから、憂鬱の「鬱」ですね。それから正式な字の「壽」。これら書けない字がズラッと思い浮かんできます。

文科省は学校で教える漢字の数を減らし、学童の負担を軽くして、他の学科に力を向けさせようとしてきたのですが、国民の間には、漢字への愛着が強いからでしょうか、一端減らした字種をその後、少しずつ復活しています。

法務省令第2号による人名漢字表を見ますと、書けない字がぐんと増えてまいりました。私が町内会長や民生児童委員を務めている時、地元の小中学校の入学式、卒業式に出ておりましたが、生徒名簿を見ると、読めない名前が多いんです。中にはタレントまがいのハイカラな名前、それから、読み方の分からない子も多くいました。

賞状伝達の役を務めるときは、受賞者の名前を間違えて呼んだり、読めなかったりするので、平仮名で書いた紙片を名前に添えてもらいました。日本語の表現力を高めるには、漢字は表意文字なので、文字の由来を伝える字種は、最小限残すべきではないでしょうか。漢字、ひらがな、カタカナの文様は、日本語の表現力、伝達力を発展させました。ひらがな、カタカナの発明は、まさに民族の知恵の結晶だと私は思います。

漢字文化の本場中国では、文字をあまりに簡略化し過ぎて、漢字文化圏の人でも文字の意味が分かりません。ところが、台湾に行くと、日本で使っていた旧漢字がそのまま使われておりますので、中国語では読めなくても意味が分かります。韓国語の文字は朝鮮語の表音文字です。朝鮮の李王朝、初期の名君世宗が1446年、人工的に作った言葉というのがハングルであります。これでは外国人には、全く分かりません。

ワープロのおかげで、今は漢字変換で直ちに正確な漢字を使えます。ただし、これも読み方を知らなければ変換できません。私は普段、パソコンで文章を書いていますけれども、メモとか日記は手書きにしています。元々字が下手なのに、ますます下手になり、他人には読めないだろうと思いつつも、これ以上、漢字を忘れないように書き続けています。以上で挨拶いたします。

幹事報告

遠藤 正明 幹事

- 10月2日金曜日にファイヤーサイドミーティングがございます。多数の方からご返信をいただいています。是非、忘れずにお集まりください。
- 10月5日、19時30分から指名委員会が開催されます。関係者の皆さまはご参集ください。
- 大津東ロータリーさんから、メールをいただきました。読ませていただきます。「これまで例会会場であったロイヤルオークホテルが倒産したことや、新型コロナのこともあり、現在は例会は月2回に減らし、琵琶湖大津プリンスホテルにておこなっております。事務局は例会以外は在宅ワーク」ということでした。大変心配をなさっているメンバーの方もいるということでしたので、
- 昨日の10時から山形県の青年の家で、ロータリーアクトの第2回会長・幹事会がありまして、私が出席をいたしました。我々西クラブが提唱クラブとなっている山形ロータリーアクトクラブは現在、11名のメンバーが集まったとのこと。うち1名は我がクラブの米山奨学生のチャン・ダン君です。そんな状況の報告をいただけてきたところです。

委員会報告

S.A.A.

本日から皆さまのお名前のボックスのほうを変更させていただきました。ちょっと、位置が悪くなったりした方もいらっしゃるかなとは思いますが、よろしくお願ひいたします。また、何か提案とかございましたらば、こちらに寄せていただきたいと思います。

写楽クラブ

写楽クラブ、旅行を控えておりましたけれども、10月25日の日曜日、近くの慈恩寺を焦点にして、徐々に境内と、それにまつわるところを被写体に選んで、秋の撮影旅行ということでご案内したいと思います。

また、勉強会をその前、10月9日金曜日に、ここのグランドホテルで、山大的松尾先生という、最も造詣の深いと言ってもいい方を坂部さんから紹介をいただきまして、開催することになっておりますので、是非、関心のある方は、参加してくださるようお願い申し上げます。



「今、大切な事」

大風 亨 氏

(株)大風印刷 代表取締役

本日は山形西ロータリークラブの例会にお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。実は今回で2回目ということで、こういう機会を与えてくださいました山形西ロータリークラブ様の勇氣に感謝を申し上げたいと思います。

山形市の緑町に生まれまして、山形市立第八小学校、山形市立第一中学校、そして日本大学山形高等学校、日本大学工学部の経営工学科。長男である兄を支えるために山形市の会計事務所に11年間勤めました。おかげさまで数字のほうは大変強くて、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー、法人税なども分かるようになり、そういうことをやってきたことが、今の私の支えになっていると思っています。その後、大風印刷のほうに監査役として入りまして、経理、総務、人事などをやって、平成21年の2月に代表取締役社長になって、現在に至っているというところでございます。

本日は今大切なこと、私が考えることです。やはり諸先輩方を前にしてこういう話をするのもなんですけど、皆様ご存知のお話だと思しますので、話を聞いてみて、ああそうだったのかとか、改めて考えてみるきっかけになればと思いますので、よろしく願いいたします。

今私が一番感じていることなんですけど、人生ってほんとに何が起るかわからないなって感じています。意外と、普通ってというのがないんだなって思うんです。例えば普通、親より先に子どもが亡くなるってことを考える人ってあんまりいないと思うんです。でも実際は、やっぱり私の2つ上の兄が、食道がんで47歳で亡くなりました。小さい頃からやっぱり兄の背中をずっと追っかけてきたもんですから、兄を支えるのが役目だと思ってずっと育ってきましたが、ある日突然、目の前にその必ずいた人がいなくなって、自分が先頭に立たなければならなくなった。経験不足もありますし自信もないんです。そういった中で、何とか会社の経営はしていかなきゃならない、幸い私どもの父が元気ですので、その父のお力も借りながらですが、一生懸命いろんなことを勉強して、社長になって10年になります。今11年目になるんですけれども、現在、今一生懸命頑張っているということです。

何が起るかわからないっていうのは、その社長就任の件もそうですが、東日本大震災、そして一昨年、去年の5月に私が心筋梗塞になりまして、カテーテルを入れて、ステントを留置して、今こうやって元気で話すことができるんです。そして今回のコロナウイルスの感染拡大と、映画やテレビドラマの作り話のようなことが、本当に私たちの身の上で起きるんだなと思っているところでございます。そして新型コロナウイルスの感染拡大という状況の中でも、やはり私たちは生き残らなければならないと思います。生き残るとい

話になりますと、よく持ち出されるのがダーウィンの進化論です。力が強い生き物が生き残るわけじゃなくて、賢い生き物が生き残るわけでもない。環境の変化に対応できた生き物が唯一生き残れるんだっていうのがダーウィンの進化論です。それでは皆さんにちょっと質問があります、今一番進化して、繁栄してる生き物って何ですか。人間です。生き物として人間を見た場合さあどうでしょうっていうことです。例えばお腹を空かせたヒグマがいます。そこに、人間が、生き物としてですから道具を持たないで、それも人間もお腹が空いている。でもヒグマと人間が1対1で出くわした場合、どちらが勝ちますか。これヒグマが勝ちます。人間なんてあっさり食べられちゃう。ライオンとぶつかっても、当然1対1で道具も持たないで会った場合、人間なんてあっという間に食べられちゃうんです。

例えば女性が妊娠して子どもができました。子どもが生まれるまでに約10カ月かかります。女性はお腹がだんだん大きくなって動きが鈍くなっていきます。子どもが生まれました。その子供は歩き出すまでに1年から2年くらいかかるわけです。その生まれた子どもが例えば女の子だとしても、その女の子がまた次に子どもが産めるまでに10年くらいかかる。生き物として見た場合、人間ってほかの動物からあつという間に食べられて、絶滅してしまうんです。だけど今こうやって一番進化して生き残っている。なぜ、人間って生き残れたんだろっていう話ですけども、実はほかの動物ができなくて人間だけができることが1つあります。それは、話すこと。つまりコミュニケーションをとることは、人間しかできないんです。今こうやってペラペラ話してますけど、ペラペラ話すクマとかネズミをご覧になったことありますか。ないですか？

やはり人間がこうやって進化して生き残るためにコミュニケーションが大切だっていうので、1つ有名な、仮説が1つあります。今から20万年から30万年前、ネアンデルタール人とホモサピエンス猿人がいまして、ネアンデルタール人が、その当時平均で165センチくらい、体も強くて頭も良かった。ホモサピエンスっていうのは今のチンパンジーくらいで、120センチくらい。それで体が少し小さい分弱くて、頭も賢くなかったと言われていたんですが、その2つの猿人が存在した時代、ネアンデルタール人、体が強くて頭がいいほうが絶滅して、私たちの祖先であるホモサピエンス人が生き残ったということになってます。

それを調べた人が、なんでホモサピエンスが生き残ったのかと、実はネアンデルタール人の声帯が若干脳みそのほうに近いところにあつて、母音しか発音できなかった。ですから「あいうえお」しか話ができなかったって言われています。しかし、子音の発音ができるホモサピエンスは、今私たちが話しているように子音も発音できたので、コミュニケーションが取れたって言われています。

例えばサバンナで雨が降って、水たまりができました。「昨日雨が降って水たまりができたから、多分獲物来てつから、獲りに行ったら捕まんじゃね？」っていうわずか10秒の会話でみんな一緒にその水たまりに行けるんです。

でもネアンデルタール人は母音しか発音できないので、そういう豊かなコミュニケーションが取れなくて、どうしたかっていうと、実は絵を描いたらしいんです。洞窟で狩りの絵とか描いてあるんですけど、あれはすべてネアンデル

タール人の作品で、「雨が降りました、水たまりができました、獣が来ました、私たちが道具を持っていきます、捕まるんじゃないかね？」って言う間にサバンナの水がなくなって、獲物がいなくなって、食べる機会を逸して絶滅したんじゃないかって言われています。

やはり人間っていうのはそのコミュニケーションを取ってきたからこうやって今まで生きて繁栄してこれた。当然これからもコミュニケーションが取れないと人間は生き残っていけないということで、今大切なものはやはりコミュニケーションであるということです。

ちょっと余談になるんですけど、人間の体の中で、コミュニケーションのために1番進化したところはどこだと思いますか。実は目だって言われています。目も、黒目じゃなくって白目のほう。白目のほうが進化して、コミュニケーションする時、誰のほうを向いているかわかりますよね。ほかの生き物、例えばゴリラや犬の目って真っ黒じゃないですか。やっぱり闘う生き物は、目が攻撃されちゃうと目が見えなくなるんで、ただやられるだけなので、目は絶対わからないようにしているんです。でも人間だけは目がどこを向いて、ここに目がありますよって、白目がはっきり見えるように進化したって言われています。そういった中でコミュニケーションを取るために1つ大切なものが、やっぱり言葉です。この言葉がないと皆さんに私の気持ちも伝えられないということで、言葉が大切だと思います。

言葉が大切だと感じたのは、2年前ヘレン・ケラーの劇を観ました。ヘレン・ケラー「奇跡の人」って言われていますけども、本当に奇跡の人だなんて思われる方いますか。3重苦っていうことで、目も見えない、耳も聞こえない、喋れない人が言葉を覚えた話なんだろうなって考えていたんですが、劇を観たらやっぱり、ヘレン・ケラーは奇跡の人でした。ヘレン・ケラーは1歳5カ月の時に熱を出して、その時から言葉も覚えられない状況で育ってきている。ですから、頭の中にまったく言葉がないのに、これらに物があって、物に名前があるなんて、気づくことは、本当に奇跡でしかないです。

また、コミュニケーション能力というのも2つありまして、今こうやって皆さんにお話しているのも1つ、あと1つヒアリング能力があるんです。いろいろ話している中で、その相手の人がどういう状態で、どういうことで困っていて、どうしてほしいのかっていう、聞き取る能力がヒアリング能力なんですけれども、今からはそれが1番大切だと思っています。

例えばケーキ屋だとして、100年に1度の果物が穫れました。だから次に穫れるのは100年後。それを鋳塚っていうパティシエから作ってもらって、今まで食べたことないすばらしいスイーツができました。10万円。どうですか、皆さん。10万円、食べたい人。ここで2度と食べられないと思ったら、やっぱり食べてみたいと思うんです。でも、砂漠を3日間飲まず食わずで歩いてきた人に、例えば「今から、これから絶対食べられないから食べろ、10万円」って言うても、絶対買ってもらえないです。でも私たち商売の中で意外と、こういうことやってるんです。自分ではいいものを作って、この値段も適正だ。でも本当にいらぬ人に勧めても絶対買ってもらえないです。これをどうしたらいいかって言ったら、やっぱりヒアリング能力が大切で、例えば

目の前を通っていった人に、皆さん挨拶しますよね、最初「こんにちは」って言ったら向こうだって「こんにちは」って言うてきます。「どっから来たのや?」って言ったら、「俺、向こうから来た」。「向こうってどっちや?」、「砂漠から来た」。「ああ、砂漠から来たの。砂漠、何日間歩いてきたの?」、「砂漠、3日間歩いてきた。砂漠3日間、飲まず食わずか?」、「飲まず食わずだ」っていう会話をしてみたら、この人は何が欲しいかっていうのは誰でもわかるじゃないですか。この人は当然水が欲しい。この人に水を売れば絶対買ってもらえる。

ヒアリング能力っていうのは実はそういうことで、いろいろな話をしている中で本人がどういう状態で今ここに来て、何が困っていて、何をしてほしいのかっていうのを聞きとることがやはりヒアリング能力なんです。やはり進化するためには変化はしなくちゃいけない、実は変化をするためには速やかに変化しなくちゃいけないんです。

ダーウィンの進化論は長い年月かかって、生き残っているんですけども、企業は20万年も30万年もかけたら潰れてしまうので、すごいスピードで変化をしなければならぬ。そういった時にやはり私たちはどうするかって言ったら、ちっちゃいことから変化をする癖をつけていくことがやはり大切だと思います。ボールペン1本変えられない人が、企業のこれからの未来を左右するようなプロジェクトをやるなんていうことは絶対ないです。ですって、やっぱり日頃、ボールペン1本から変えられるような癖をつけておくと、中規模のこと、そして大きいことも変えられるようになっていきます。そういったところを心がけて速やかに変えることが大切だと思います。

また、コロナ感染で今話題となっているのはリモート、テレワーク、5年後、10年後にやればいいなんて思っていた企業は結構あるんです。でもそれがコロナウイルスのおかげで、今みんなやっているんです。これ、5年後、10年後の未来が強制的に今に来ちゃったっていうことで、もう過去に戻らないものがあるってということなんです。

例えば東京のOAフロアを見ても、数百万円借りて全社員がいたフロアは、テレワークでいいってなったら、もうそれは借りる必要ないわけです。その分会社の利益にもなりますし、会社のほうとしてはそのほうがいいということになるので、完全に戻らないです。

強制的に来た未来で、戻らないものがあるということで、この先の見えない状態で私たちはじゃあどうしましようかということなんです。山形西ロータリークラブさんも奉仕団体ですので、初心に帰って奉仕ってどういうことだとか、この時代でできる奉仕って何なのかとか、原点に帰ってみて軸ぶれしない行動をするということがやはり大切なんじゃないかなと思います。

結びに、私たちも今、歴史的な出来事に立ち会っています。歴史の証人として、100年後に「令和2年、2020年、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大した時に当時の人たちはこんなことをしてがんばって生き残られました」と後世の人たちから言ってもらえるように私たちもこれからがんばっていきなさいと思います。

ニコニコBOX

〈9月28日〉

遠藤正明幹事／大風社長をお迎えして

4月例会が中止となり、ようやく卓話に来ていただけることになり、大変嬉しく思っています。今日は思う存分お話をください。楽しみにしております。

武田岳彦さん／大風社長をお迎えして

大風社長の卓話を楽しみにしていました。本日はどうぞよろしく申し上げます。

鈴木浩司さん／大風社長をお迎えして

大風社長、ようこそお出で下さいました。本日はよろしくお願いたします。

坂部登さん／我々印刷業界の若手トップリーダーである大風君を歓迎して。

吉田福平さん／常日頃、お世話になっている大風印刷、大風亨社長を歓迎いたします。

遠藤靖彦さん／1. 大風亨さん、本日はありがとうございます。卓話楽しみにしております。2. 昨日の球風会で多大なハンディキャップのおかげで、優勝させていただきました。ベスグロ77の方には申し訳ありませんでした。7ロータリーコンペでもハンディキャップに期待します。

市村清勝さん／1. 歓迎、大風亨ちゃん。とても楽しいお話を聞かせていただけると、ずーっと前から待ち望んでおりました。2. 昨日初めて球風会に参加させていただきました。点数はさておき、パートナーに恵まれながらも楽しい1日を過ごすことができたのでニコニコします。3. 最近山好きな人と会うと、飯豊に登った？と聞かれるので、1泊2日で登ってきました。とても深くて高くて広くて、スリルがあって楽しい山でした。家内と共に登れたことがうれしくてニコニコです。これで山形県内の百名山は全て登りました。

佐藤章夫会長／ゴルフ懇親会

昨夜、ゴルフをやらないで懇親会に出させてもらいました。皆さん大変お元気で西クラブを盛り上げてくださっていると大変心強く感じました。

渡辺隆博さん／球風会初参加

初めての球風会参加で準優勝できましたので、うれしくてニコニコいたします。遠藤靖彦さん、優勝おめでとうございます。

高橋勝治さん／球風会コンペに参加しました

昨日、山形ゴルフクラブにおいて球風会コンペが開催され、ハンディに恵まれ3位に入りました。職業交流委員会の皆さんに感謝し、ニコニコします

米本満さん／昨日の球風会ゴルフ、運良くニアピン、ドラコン、ブービー賞をいただきました。ちなみにブービーメーカーは次期会長でした。

東海林健登さん／球風会に参加しました

昨日、球風会ゴルフコンペに参加し、グロス99と、ブービーメーカーになりました。皆さまと楽しい時間を過ごせたことにニコニコします。

藤田良仁さん／昨日の球風会、欠席して申し訳ありませんでした。先日9月18日の企業様ゴルフコンペにて、ダブルペリアがうまくはまり、2位になり大変うれしかったのでニコニコします。ありがとうございました。

戸田正宏さん、尾形亨さん、鏡武利さん、

東海林健登さん、結城和生さん／白鷹山勝ち越しを祝って正代優勝、大関昇進確実で沸いた大相撲9月場所でしたが、郷土力士白鷹山十両が、千秋楽でやっと8勝7敗勝ち越しを飾ることができましたので、ニコニコいたします。

職業奉仕委員、職業交流委員／昨日開催されました「球風会」秋のゴルフコンペがコロナ禍の中開催され、遠藤靖彦さんが堂々の優勝。また、渡辺隆博さんが1名だけ70台でのベスグロ。おめでとうございます。また、特別ルールの11番ホール、ニコニコホールでは多くの方がわざと外し？ニコニコ罰金にご協力いただき大変ありがとうございました。無事けがもなく、懇親会も楽しくニコニコ尽くしの1日に感謝します。

球風会 ゴルフコンペ

9月27日(日) 於：山形ゴルフクラブ



優勝した遠藤靖彦さん



優勝：遠藤靖彦さん
2位：渡辺隆博さん
3位：高橋勝治さん

本日出席 (9 / 28)	会員総数	出席会員数
	97名	61名